

ヘルスケアビジネス実例セミナー

生涯現役社会の実現に向けたヘルスケアビジネスは、全国に拡がるのが期待されており、本県においても、ヘルスケアビジネスの創出に向けた取組が行われています。

本セミナーは、島根県ヘルスケア産業推進協議会のオープンな分科会として実施し、ヘルスケアビジネスの施策や事例紹介を通して、新事業の創出や既存事業の発展を目指しています。

日時:令和元年7月22日(月) 13:30~16:30 (13:00開場)

場所:島根県芸術文化センター「グラントワ」スタジオ1 (益田市有明町5-15)

内 容

○13:40~14:55 『ヘルスケア産業創出に向けた取組』

中国経済産業局 地域経済部 地域経済課(情報・ヘルスケア産業担当) 課長補佐 佃 朋之 氏

○14:00~14:20 『ヘルスケアビジネスの動向』

わが国の戦略分野に位置づけられるヘルスケア産業。しかし、ヘルスケア産業分野における事業化には、特有の課題や戦略があります。今回、ヘルスケア分野での事業化における課題と戦略を分かりやすく解説します。

また、近年、新たなビジネスが創出されているIoT関連分野のサービスのほか、地域資源を活用したヘルスツーリズムの動向等について事例紹介を含めて解説する。

○岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 准教授 志水 武史 氏

(財)生命保険協会、(株)GEエジソン生命など生命保険業界で医療・介護分野の各種調査、保険商品開発等に携わった後、(株)さくら総合研究所、(株)日本総合研究所調査部で医療分野の調査業務に従事。2003年度よりコンサルティング業務を開始。2006~2007年の1年間、伊藤忠商事に出向、地域ビジネスの立ち上げを支援。経済産業省や地方自治体のヘルスケア関連産業創出事業について、豊富な支援実績・知見を有する。

○14:25~15:25 『地域に密着したヘルスケアサービス創出の勘所』

地域で持続的に消費されるヘルスケアサービスの創出のポイントについて、九州各県での事例に基づいて解説する。

○株式会社くまもと健康支援研究所 代表取締役 松尾 洋 氏

1974年生。福岡県出身。熊本大学大学院教育学研究科を終了後、健康づくりNPO活動に従事する傍ら、熊本大学大学院医学教育部博士課程に入学。大学院在籍時(2006年)に、株式会社くまもと健康支援研究所を設立。熊本県内の市町村/健康保険組合の介護予防、健康づくり事業を展開している。近年、大分県、佐賀県、福岡県、鹿児島県でも同様の事業を展開している。医療機関と連携した新たな健康づくり事業である医商連携まちづくり「うえきモデル」を構築。同モデルは、産業構造ビジョン2010および日本再生戦略で先進事例として紹介され、厚生労働省「健康寿命をのばそうアワード2012」において企業部門優良賞を受賞。成長分野であるヘルスケア産業分野におけるリーディングカンパニーに成長。

○15:30~16:30 『ヘルスケアビジネスの展開と経営ノウハウ~社会保障と地域創生を支える大きな可能性~』

産業界で大きな注目を集めるヘルスケアビジネス。健康に興味を持たない人はおらず、その市場は全国民ともいえる。様々な企業がヘルスケアビジネスに取り組んでいるが、経営的成功をおさめることはなかなか難しい。フィットネスクラブの事業から出発し、健康指導人材の派遣・健康づくり教室受託・介護予防ビジネスへの参入など様々なヘルスケアビジネスに取り組んだ事例を紹介する。同時に経済産業省など中央官庁や関連団体の委員・役員として健康・スポーツ・介護予防・病気予防の政策に関わる立場から、ヘルスケアビジネス経営の成功ポイントについて言及する。

○株式会社ルネサンス 取締役専務執行役員 高崎 尚樹 氏

フィットネスクラブ・介護施設の経営、新規事業、医療・介護・他業種との連携を担当。政府の「次世代ヘルスケア産業協議会」、健康投資WG委員の他、省庁・自治体・関連団体の役員・委員に就任。企業経営のマネジメントやマーケティングの手法を活用し、健康政策を推進する。企業の健康経営の推進や、認知症に繋がる軽度認知機能障害(MCI)の予防等にも取り組む。(公財)健康・体力づくり事業財団理事・健康日本21推進全国連絡協議会幹事・立命館大学大学院客員教授・女子栄養大学大学院非常勤講師・健康経営アドバイザー・経営学修士。

○17:00~19:00 ヘルスケア事例紹介企業等との情報交換会(会費制:4,000円)

レストラン「Pony」(ポニー) グラントワ内

主催:島根県ヘルスケア産業推進協議会